

平成23年

年頭にあたって

岩美町長 榎本 武利



あけましておめでとうございます。

平成23年の新春をお迎えになられたことを心からお慶び申し上げます。

さて、昨年の国内情勢を顧みますと、政治においては政権交代により国の政策やその決定システム等が大きく転換され、また、経済では、急激な円高をはじめ、世界的景気後退の影響を受け国内景気は低迷し、雇用情勢も悪化するなど厳しい状況が続きました。

このように、政治、経済、社会情勢が大きく揺れ動くなか、わが町では、山陰海岸が世界ジオパークネットワークに加盟認定されるなど、岩美町の知名度を全国的に高める明るい話題もありました。

また公共下水道、岩美中学校、ケーブルテレビ網の整備を終え、「岩美チャンネル」の放送も開始されました。

さて、本町は、「人が輝き 海輝る きらめきつづけるまち 岩美」を基本理念に、『協働のまちづくり』『住民が自信と誇りを持てる地域づくり』を目指して町づくりを進めていますが、昨年は、一昨年に続いて、町民の皆さまに予算編成の段階からまちづくりに参画していただくため、

「協働のまちづくり」予算会議を開催し、当初予算の編成等についてのご意見やご提案をいただきました。また、第9次総合計画策定に向けまちづくり委員会を設立し、アンケート内容の項目等をご審議いただきました。参加された方の熱意とまちづくりへの意欲を感じ、なお一層、町民とともに歩むまちづくりを進めていきたいと決意したところであります。

世界ジオパーク ネットワーク加盟を活かす

昨年の10月4日、浦富海岸を含む山陰海岸の世界ジオパークネットワークへの加盟が決定しました。これからは、その取組の真価が問われます。長年町民の皆さまと培ってきた取組のすべてに魂を入れる年です。

④海を使った体験事業の充実…渚交流館を核としたシュノーケルやシーカヤックの体験とインスタクターの養成
⑤山間部のジオサイトの活用…旧岩美鉱山・横尾の棚田・岩井温泉 など

ジオパーク元年として以下の事に取り組みます。
①農林水産物のブランド化…ジオの付加価値
②子ども農村漁村体験エリア…体制づくり
③広域観光の推進…ジオエリアの整備充実と各ジオエリアとの連携



「わがまちの宝」写真コンテスト入賞作品

城原海岸海中景観